

希望郷いわて国体の準備状況は

質問 奥州市ではカヌー競技他7種目の競技が開催される。この7月4日からカヌーのリハーサル大会が実施されるが市内を歩いてみて盛り上がり、熱気が感じられない。本庁舎前にカウントダウンボードが設置され、市のHPには「花いっぱい運動」「協賛のお願い」「OSHU市民運動」など掲載されているが市民の理解、関心度が実感されない。

市長 初めて奥州市で実施されるカヌー競技、その他競技の準備体制は。

市長 リハーサル大会6競技の従事者、市民ボランティアの体制は、固まってきた。市民の方たちには積極的に会場に足を運んでいただき、観戦、応援をお願いしたい。

質問 協賛企業、支援状況は。

市長 協賛金が6団体で約25万円、協賛品は13団体から



菅原 圭子 議員(新世会)



「希望郷いわて歓迎の花」胆沢川特設カヌー競技場

広報用車両をはじめ約330万円の提供がある。PRグッズ作成、着ぐるみ購入など広報活動に活用している。

質問 花いっぱい運動の進行状況は。

市長 10月に開催される卓球のリハーサル大会に向けてボランティアの方たちが栽培に取り組んでいる。競技会場などにプランターの設置をする予定。

質問 OSHU市民運動の具体的活動は。

市長 心のこもった挨拶の励行・郷土料理の提供・歓迎ムードの高揚など、奥州ならではの最高の心のこもったおもてなしを展開する。

質問 来年度は組織再編により職場の体制が大きく変化すると思われるが、人員体制、危機管理などの体制は。

市長 すでに情報を得ており、本大会の計画を進めていくこと、イベント運営に精通した関係団体職員の動員要請も行っていく。

脳外科など緊急医療体制の充実安心してお産が出来る地域に

質問 当市の緊急医療体制は、脳疾患の緊急の手術にはほとんど対応出来ず、中部病院や磐井病院に搬送されていたが現状はどうか。また、当地域の里帰り出産や異常分娩への対応など産婦人科の実態について伺う。

市長 脳神経外科は、平成23年以降胆沢病院において医師不足のため、手術症例は、中部病院、磐井病院へ移送していた。市としては、脳外科医師の確保と一日も早く緊急の手術ができる環境になるよう県に要望してきたが、脳外科医師の着任と治療に係る設備の整備が開始され、順次脳卒中の診療について拡大する予定とのこと。引き続き充実に向け要望していく。周産期医療



地域医療の充実を（総合水沢病院）

は、病院での出産、リスクを伴う分娩が当地域で行えない状況にある。県に對し、産科医療の再開を要請しているが、限られた医師数の中で派遣している大学医局においては、早急な体制整備は厳しい。市としては、市民ひとりひとりの生命を守り、地域医療の充実を図るため、引き続き医師確保対策に努めるとともに、関係機関への要望を継続する。

質問 当地域を異常分娩や里帰り出産にも対応できる地域として整備充実していかなければならない。水沢病院の産科の復活等も視野に入れ、対応すべきではないか。

市長 胆江地域の出生数が1052名に對し、5つの開業医で対応出来たのが828名のみで、224名が他の地域で生まれている。里帰り出産は、早期でなければ対応できない。子どもは宝であり、体制の充実を要望したい。



千田美津子 議員(日本共産党)